



## 指標の追加と変更

【追加】


## 農業の振興 2 経営の安定

指標名	内 容	目標値設定の考え方	現状	目標	備考
農作業死亡事故年間発生件数	1年間の農作業死亡事故の発生件数	過去の本県における農作業死亡事故年間発生件数(過去5年間の平均で約16件)の半減(年8件)以下を目標として設定する。	16 件	8 件 以下	50.0% 

## 林業・木材産業の振興 3 県産林産物の振興

指標名	内 容	目標値設定の考え方	現状	目標	備考
ナメコ(県オリジナル品種)の生産量	県オリジナル品種であるナメコ福島N1号、福島N2号、福島N3号、福島N4号の生産量(=予測発生量:種菌配布量(本数)×標準的な発生量(kg))の合計	福島県オリジナル品種によるきのこ産地化促進実施計画に基づき、(財)福島県きのこ振興センターから毎年、一定程度(N1:120本、N2:250本、N3、N4:4,000本)の種菌を生産者に供給することにより生産量を伸ばしていく。	12 トン	57 トン 以上	475.0% 

## 自然・環境との共生 1 環境と共生する農林水産業


指標名	内 容	目標値設定の考え方	現状	目標	備考
認証を受けた特別栽培農産物の作付面積	特別栽培のうち、認証機関により認証された作付け面積	平成26年度の作付面積を20年度実績の1.5倍以上に増加させること目標とし、毎年約430haずつ増加するものとして設定。	5,179 ha	7,800 ha 以上	150.6% 

【変更】

## 魅力ある農山漁村の形成 4 快適で安全な農山漁村づくり

指標名	内 容	目標値変更の理由	現状	変更前目標	変更後目標	増減
緊急点検による要整備ため池整備率	「農業用ため池緊急点検」による要整備ため池を改修した割合	国予算の見通しの変更による。	0 %	15 % 以上	11 % 以上	4 ポイント

## 農業の振興

指標名	内 容	目標値設定の考え方	現状	目標	備考
うつくしま農林水産ファンクラブ会員数	うつくしま農林水産ファンクラブに登録されている会員数	子育て中の親を対象に会員を増やすため、公立小学校区を単位として、各学校区で6名(小学校の各学年1名の保護者)の会員を確保することを目指す。 地産地消イベントへの来場者など、県産農林水産物に関心の高い消費者等に会員になっていただき、現在の1.5倍以上となる会員となる3000名を目指します。	1,827 人	3,000 人 以上	164.2% 


農業の振興 3 農業生産基盤の確保・整備

指 標 名	内 容	目標値変更の理由	現状	変更前目標	変更後目標	増減
機能向上により排水条件が改善される面積	かんがい排水事業や排水対策特別事業、ほ場整備事業等により排水路が整備され、排水条件が改善された水田面積	国予算の見通しの変更による。	74,013 ha	75,700 ha 以上	75,000 ha 以上	700 ha
ほ場整備率(水田)	農振農用地の水田で、ほ場整備事業等により整備された面積の割合	国予算の見通しの変更による。	74.3 %	76 % 以上	75 % 以上	1 ポイント
補修・更新により安定的な用水供給機能が維持される面積	農業水利施設の補修・更新により安定的な農業用水の供給機能が維持された農用地面積	国予算の見通しの変更による。	- ha	45,200 H22～26 累計 ha 以上	39,000 H22～26 累計 ha 以上	6200 ha
補修・更新により湛水防除が維持される面積	湛水防除施設の補修・更新により湛水被害防止機能が維持された農用地面積	国予算の見通しの変更による。	- ha	250 H22～26 累計 ha 以上	200 H22～26 累計 ha 以上	50 ha

農業の振興 4 県産農産物の生産振興

指 標 名	内 容	目標値設定の考え方	現状	変更前目標	変更後目標	増減
特色ある多様な米づくりの作付面積	有機栽培米・特別栽培米・エコ米等の特色ある米づくりに加え、加工用米や新規需要米などの多様な需要に対応した米づくりに供した水稻の作付面積の合計	特別栽培の作付面積の見直しによる。	28,192 ha	36,700 ha 以上	37,700 ha 以上	1,000 ha

自然・環境との共生 1 環境と共生する農林水産業

指 標 名	内 容	目標値設定の考え方	現状	目標	備考
有機農産物生産行程管理者数 有機農産物の作付面積	県の調査で確認された有機農産物の作付面積  特別栽培に関する指標を「認証を受けた特別栽培農産物の作付面積」としたことから、「有機農産物生産行程管理者数」から特別栽培と同様に「作付面積」の指標に変更。	平成26年度の作付面積を20年度実績の1.5倍以上に増加させること目標とし、毎年約23haずつ増加するものとして設定。	233 ha	370 ha 以上	158.8% 

林業・木材産業の振興 3 県産林産物の振興

指 標 名	内 容	目標値変更の理由	現状	変更前目標	変更後目標	増減
間伐材利用量(民有林)	間伐実績調査の間伐材の生産・流通実績	目標値の積算対象から国有林を除き、民有林のみに修正。	57 千m³	160 千m³ 以上	120 千m³ 以上	40 千m³